

下水道局だより

未来に引き継ぐ下水道 vol.4

平成31年3月1日発行
下水道局
☎239-1030 FAX 239-1037

市民の皆さんに津市の下水道事業をもっと知っていただくため、課題や経営状況についてシリーズでお伝えしています。平成30年度は、汚水処理に必要な経費が使用料収入で賅えていない苦しい経営状況についてお伝えしてきました。今回は、これまでお伝えしてきた下水道事業について振り返ってお話します。

汚れた水をきれいにするために



下水道事業は、汚れた水をきれいにするための事業なんだけど、汚れた水を処理するためにはすごく費用がかかるんだよね。



汚水を処理したり、下水道管や処理場を維持管理したりするための費用が維持管理費。下水道の整備のために借り入れたお金を返済するための費用を資本費と言って、平成29年度で維持管理費が17億円、資本費が6億円で合わせて23億円も使ったんだ。



たしか、汚れた水をきれいにするための費用1㎡当たりの原価が177円なのに対して、使用料の1㎡当たりの単価が118円だから、汚れた水をきれいにする費用が賅えてなかったんだよね。



そうだったね。使用料が足りない分を賅うのに、下水道が使えない地域の人々の税金も使っているという話をしたよね。

平成29年度 汚水処理費

23億700万円

維持管理費		資本費	
● 汚水管、ポンプ場、処理場など		● 借入金の利子	
人件費	1億9,200万円		1億7,300万円
委託料	3億7,400万円	● 減価償却費	
工事費・修繕費	1億2,400万円		4億6,400万円
その他	2億6,600万円		
● 三重県への負担金	7億1,400万円		
計16億7,000万円		計6億3,700万円	

平成29年度 汚水処理原価^{※1}の内訳

177円

(汚水処理費 23億700万円 ÷ 有収水量^{※2} 1,300万㎡)

維持管理費	資本費
128円	49円
(維持管理費 16億7,000万円 ÷ 有収水量 1,300万㎡)	(資本費 6億3,700万円 ÷ 有収水量 1,300万㎡)

※1 汚水処理原価1円未満切り捨て

※2 処理水量のうち不明水等を除いた使用料がかかっている水量

不足する下水道使用料



使用料が不足する分の16億円を税金に頼っていたんだよね。



そうなんだ。津市の人口で割ると年間1人当たり約5,800円の負担になるんだよ。



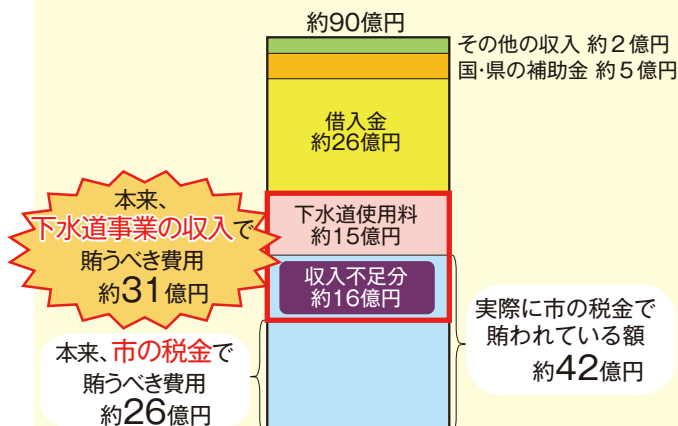
下水道が整備されていない地域の人でも年間で1人当たり約5,800円負担しているんだね。

それだけの税金が利用できれば、たくさんの事業ができるよね。



そうだね。ただ、津市の使用料単価は全国的にも低く、このことが大きな要因になっているんだ。

汚れた水をきれいにするための費用がどのように賅われているか (平成29年度実績)



(税抜き、現金科目のみ)